



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

また、平素から法定検査をはじめとする当センターの事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年5月の総会で会長に就任させていただき、はや半年が過ぎました。

この間、様々な出来事がありましたが、自分なりに総括しますと、良かったと思う点は、県をはじめ、阿南市など行政機関と災害時の復旧支援協定が締結できたこと。これにより、当センターが、公益法人としてその社会的責任を少しでも果たすことが出来るのではないかと考えております。

逆に強い向かい風にさらされたのが、法定検査です。

連日のように新聞紙面で県民からご批判を頂きました。これに関して、私はまず職員に対し『批判を真摯に受け止め、反省すべき点は反省し、謙虚な気持ちで、親切・丁寧な応接を心がけ、信頼される検査に努めるように』と再度指示・指導を致しました。しかし、同時にこうも言いました。『罰金で脅したとか、詐欺だとかいろいろ云われているが、皆さんは徳島の水環境保全に必ず役にたっているこの検査に、一生懸命に取り組んでいるのだから、卑下することは何もない。これからもプライドを失わず、胸を張って、自信をもって、法定検査の推進に努めてください。』と。

検査員同様、私自身もこの批判にすべて納得しているわけではありません。県民の意見として新聞や県議会で取り上げられているのは、法律に違反している人たちの意見であり、真面目に法律を守ってくれている人達の意見が、こうした未受検者の声に掻き消されてしまっていることが非常に残念でなりません。さらに批判の矛先が検査員・検査機関に向けられ、あたかもそれがすべての元凶のようなご意見もありますが、そもそもその根底にあるのは、『浄化槽にお金をかけたくない』という県民の意識であり、その不満が『保守点検と検査が重複する』ということと『周りの未受検者との不公平』という問題に転嫁されているに過ぎないと考えております。しかしながらこれらは、検査機

関の努力で解消できる問題ではなく、法定検査の制度上の課題、あるいは行政施策遂行上の問題であります。もちろん啓発が不足していることは否めませんが、それだけではこの問題を解決することは到底出来ません。

《法定検査》だけでなく、《保守点検》・《清掃》を含めた現在の維持管理実施（受託）方法を根本から見直し、そのシステム自体を大きく変えなければ、県民の持つ不満を解消し、適正管理100%を実現することは不可能であると考えております。

そのため、私は次の3つを提案したいと思っております。

1. 市町村設置（管理）型浄化槽の推進

個人管理の危うさを解消するために、浄化槽の維持管理に行政が関与する必要があると思われま

2. 維持管理一括契約の推進

これは保守点検、清掃業者の皆様にご協力いただき、是非導入したいと考えており、検査機関は無管理施設の撲滅に全力を傾注する考えです。

3. 浄化槽の維持管理に対する補助金

行政の公平性に鑑み、下水道・集落排水等、他の汚水処理施設と同様に、浄化槽の維持管理に対して県・市町村が管理費の一部を助成をすべきと思っております。

これらを実現することにより、徳島県の水環境を守り、安心して安全な暮らしを県民に提供することが出来、きれいな自然・きれいな水を次の世代へ引き継げるのではないかと考えております。また、このことを念頭に、会員・職員がより一層社会奉仕の心をもって日々活動していれば、そう遠くない時期に、我々の業務や活動が適正に評価される時代が必ずやってくると確信しています。

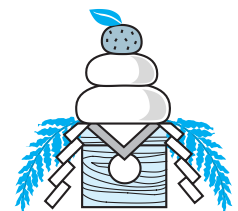
昨年10月に提出した、公益認定申請書も、2月には承認され、3月からは、新公益社団法人としての準備ができるものと思っております。

新年度は当センターにとって、新たな組織として生まれ変わる、大変重要な年であります。

新年を迎えるに当たり、私も含め役職員一同は、今一度初心に返り、定款の目的を達成するために、懸命に邁進したいと決意を新たにしておりますので、会員の皆様、行政の皆様へに於かれては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

平成23年元旦

会長 松原 義輔





あさん地球フェスタ in いたの

11月23日(火・祝)に、板野町のあすたむらんど徳島で、環境と健康を考えるをテーマに「あさん地球フェスタ in いたの」が開催された。

このイベントは、板野町にある美しい山並み、あさん山脈の自然をいっばいに感じながら、デューク更家さんと歩く「わくわくウォーキング大会」や大人世代から子どもまで幅広い世代に愛されている地球を守るヒーロー「ウルトラマン」のステージを通じて自然環境や健康の大切さ等のメッセージを県内及び四国・関西へ発信するため開催されたものである。

当センターも、このイベントに参加し、あすたむらんど子ども科学館において、私たちの命や暮らしに欠かせない水について子供たちを対象に、「水を知ろう！水を考えよう！」をテーマに水を意識し考えてもらうイベントを実施した。

イベント内容は、昨年9月に発足した、環境の啓発やセンターの広報活動を担当する「水すまし隊」のメンバーが中心になって企画した。

イベントの目玉としては、環境に関する〇×クイズで遊びながら環境について考え、学ぶ環境クイズ大会を実施した。

他に、環境カードあそび、おもしろ水実験(表面張力・濾過実験)、水のなかのシャボン玉、シャボン玉あそび、顕微鏡による微生物観察などを行い、同伴の保護者の方にはアンケートにご協力頂いた。

「水すまし隊」が発足して初イベントであったが、隊長以下13名の隊員が趣向を凝らし子供たちが楽しく環境のことに関心を持ってもらう企画は、300人余の来場者で大盛況であった。

当日はどのコーナーも来場者がいっばいあふれていたが、体験コーナーのスライム作りのコーナーが特に人気を集めていた。

また、同伴の保護者の方170名にアンケートにご協力していただいた。



環境クイズ大会
環境、生物に関する簡単な問題から、少し難しい問題まで〇、×形式でクイズを行いました。

おもしろ水実験
アサリによる水質浄化実験、顕微鏡を使った水中の微生物の紹介、砂ろ過実験、水中のシャボン玉、表面張力実験、スライム、大きなシャボン玉作りなど、子ども達と一緒に楽しく実験を行いました。



第3回 管理技術委員会開催



第3回目の管理技術委員会が12月10日(金)午後3時、県環境技術センター4階会議室で開催された。

まず、中川委員長が開会の挨拶をした後、事務局の川人次長が、前回までの議事の内容、議論の経過、提出された意見書などを説明した。

続いて、川人次長は、「解決すべき課題は山積しているが、すべては法律が遵守されていないことに起因している。よって、これを啓発や指導により解消することは甚だ困難であるため、今後優先して協議することは、行政と連携して適正な維持管理を担保するシステムを構築することだと思われる。」と委員会の今後のテーマにつき提案した。委員長がこれにつき会に諮ったところ全会一致をもって承認された。

承認を受け事務局から、二つの事例が示された。一つは兵庫県で実施されている『新規設置者を対象に設置届受付時に一括契約書を添付するシステム(業者認証システム)』。もう一つは『那賀町で実施している維持管理一括契約方式を他の市町村へも導入すること。』である。

委員からは『早急に事例を参考に検討すべき』とする積極的な意見と『地域間の隔たりが大きいため統一したシステムの導入は無理がある』など賛否両論が出されたが、真貝浩二委員から『徳島県の浄化槽業界は今大きな転換期に差し掛かっている。水環境保全という大きな目的を達成するため、業界と行政が連携し、一括契約などの方法で住民が納得できる制度を構築する努力を今しなければ、浄化槽に関する問題はいつまでも解決出来ない。』という意見が出され、委員全員がこの意見に同調したため、次回以降は【一括契約システム】について具体的に検討していくこととした。

謹賀新年
 昨年中はいろいろお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

| | | | | |
|----|----|------|-----|----|
| 監事 | 理事 | 常務理事 | 副会長 | 会長 |
| 志摩 | 真鍋 | 川人 | 乃野 | 庄野 |
| 吉村 | 田村 | 中西 | 藤西 | 大坂 |
| 原岡 | 井内 | 山田 | 松原 | 義輔 |
| 幸一 | 艶甲 | 利弘 | 芳光 | 俊人 |
| 吉清 | 誠司 | 吉男 | 茂清 | 誠司 |
| 恭臣 | 誠司 | 吉男 | 茂清 | 誠司 |

各地区で報告会開催 上半期の事業と決算を報告

県環境技術センターは、阿北地区を皮切りに県下 8 地区で報告会を開催した。

この報告会は、支部の廃止に伴い、きめ細かく会員の皆様のご意見や要望を収集し、事業実施計画や運営に活用すること、また会員の皆様にセンターの事業内容をご理解いただき、各事業への参加やご協力をお願いすることを目的として松原会長が提案し実施したものである。まず 11 月 26 日に吉野川保健所 2 階会議室において阿北地区報告会が開催された。

執行部からは、松原会長、原岡常務理事、川人理事、会員からは、阿北地区の会員 3 名（2 名欠席）が出席した。次の①～⑤までの項目につき報告した。

最初に、会長が会の趣旨を説明し、挨拶をした後、① 22 年度上半期の各事業の進捗状況や実施状況を報告し、あわせて上半期の会計報告を行った。続いて、②浄化槽維持管理の一括契約について、川人理事が那賀町と茨城県の事例をパンフレットを参考に説明したあと、実施方法案などにつき、各地域の会員の皆さんに意見を求めた。

次に同理事が、先に締結した、③県及び阿南市の大規模災害時の復旧支援協定の内容について説明し、災害時のご協力をお願いした。

続いて、④会員の日帰り親睦旅行につき行程を説明し、参加を募った。

最後に、会長が、各事業の円滑な推進を図るため、また、新公益法人移行後の組織力アップのため、⑤会員増強について、会員からの紹介や斡旋をお願いした。なお、各地区からは様々なご意見や要望を頂いたため、今後の事業の計画実施にあたって参考にできるところは取り入れたいと回答した。

この報告会は、阿北のあと、7 地区において順次開催した。



阿北地区
11 月 26 日(金)
3 名参加

なお、各地区で開催された日程はつぎのとおり

| | | |
|-----------|-------|-------|
| 11月29日(月) | 三好地区 | 5名参加 |
| 11月29日(月) | 美馬地区 | 7名参加 |
| 12月2日(木) | 徳島地区 | 15名参加 |
| 12月7日(火) | 鳴門地区 | 4名参加 |
| 12月9日(木) | 小松島地区 | 5名参加 |
| 12月14日(火) | 海部地区 | 2名参加 |
| 12月14日(火) | 阿南地区 | 9名参加 |



三好地区報告会
11 月 29 日(月)
5 名参加

美馬地区
11 月 29 日(月)
7 名参加



徳島地区
12 月 2 日(木)
15 名参加

鳴門地区
12 月 7 日(火)
4 名参加



小松島地区
12 月 9 日(木)
5 名参加

海部地区
12 月 14 日(火)
2 名参加



阿南地区
12 月 14 日(火)
9 名参加

第1回 会員ゴルフコンペ開催

11月27日(土)阿南市那賀川町のコートベール徳島ゴルフクラブで、センター主催の第1回ゴルフコンペが開催された。浄化槽設備士会、浄化槽管理士会と共催したこともあり、14名の参加があった。

4組に分かれて7時37分にスタート。午前中は、リンクスコース特有の強い風に悩まされ、参加者の皆さんから『アカンもんできよるわ』とか『オーイどこいっきよんで〜』など、自分のボールに行方を尋ねる声が聞こえ、ハーフ18オーバーが続出した。午後からは、風も止み、絶好のゴルフ日和となったが、なぜかスコアはあまり変わらないままプレイが終了した。

結果は、スコア NET74.4 で中野慎一郎氏が優勝した。表彰式では、主催者を代表して山田副会長（設備士会会長）が挨拶、入賞者の表彰のあと、優勝した中野慎一郎氏が『図らずも今回私が優勝させていただいたが、皆さんよく似た成績で、誰でもチャンスはあり、楽しくプレーすることが出来た。会員相互の親睦を深めるため、このような事業は是非とも継続していただきたい』と挨拶し、楽しい1日を終えた。



なお、今回のコンペ（大会）の成績（ダブルペリア方式）は次のとおり

- 優勝 中野慎一郎氏 74.4 中野工業株
- 準優勝 大坂 利弘氏 75.2 (有)大坂建材
- 3位 四宮 輝彦氏 76.0 (有)星光産業
- 4位 川人 誠司氏 76.6 (株)徳島県環境技術センター
- 5位 中内 猛博氏 77.6 (有)徳島環境保全事務所

22年度管理士試験

合格率23.1% 前年比0.4%アップ

（財）日本環境整備教育センターは、12月8日、平成22年10月24日に全国5会場（宮城県・東京都・愛知県・大阪府・福岡県）で実施された浄化槽管理士試験の結果を発表した。

それによると、受験申請者は1,297人（前年度1,381人）で、そのうち1,144人（同1,227人）が受験した。合格者数は264人（同279人）で合格率は23.1%（22.7%）で昨年度比0.4%で微増であった。

尚、合格基準点は総合得点64点以上となった。

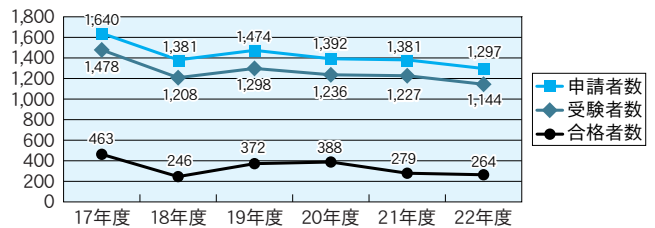
会場の別の合格者数は次のとおり

- 宮城会場 17名 東京会場 87名 愛知会場 69名
- 大阪会場 60名 福岡会場 31名

浄化槽管理士試験合格者数の推移

| | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年 度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
| 申請者数 | 1,640 | 1,381 | 1,474 | 1,392 | 1,381 | 1,297 |
| 受験者数 | 1,478 | 1,208 | 1,298 | 1,236 | 1,227 | 1,144 |
| 合格者数 | 463 | 246 | 372 | 388 | 279 | 264 |
| 合格 率 | 31.3% | 20.4% | 28.7% | 31.4% | 22.7% | 23.1% |

管理士試験結果の推移（過去6年間）



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程1：平成23年1月17日～1月28日

地区：上勝町一斉検査

日程2：平成23年1月21日～2月1日

地区：鳴門市一斉検査（北灘町、鳴門町）

日程3：平成23年2月1日～2月10日

地区：佐那河内村一斉検査

日程4：平成23年2月2日～2月10日

地区：海部郡、那賀町

日程5：平成23年1月24日～2月4日

地区：阿南市西部地区

日程6：平成23年2月7日～3月1日

地区：阿南市南部地区

○7条検査

日程1：平成23年1月24日～1月28日

地区：徳島市内、徳島市外

日程2：平成23年1月31日～2月8日

地区：徳島市内

日程3：平成23年2月9日～2月18日

地区：徳島市外



水 質 計 量 便 り

新春を迎え、皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げます。

まだまだ寒い日が続きますね。例年、季節性インフルエンザが12月から翌年3月頃まで流行します（×_A×）。

最近では新型インフルエンザ（A/H1N1）の再流行も懸念されています。新型インフルエンザは季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なり、一般に免疫を持っていない人が多いため、感染が拡大しやすい様です。

現在国内で流行しているのは、A/H1N1 亜型と A/H3N2 亜型（香港型）、B 型の三種類です。ちなみに新型インフルエンザは、A/H1N1 亜型ウイルスのひとつです。

とはいえ、まずはインフルエンザにかからない事が大事ですよ（＾＾）

やはりワクチン接種！もちろん流行前ですよ。次に外出後の手洗い、うがいです。空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下しがちです、室内では50～60%程度の湿度が効果的でしょう。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養をとりましょう。

インフルエンザが流行しだしたら、人混みや繁華街などへの外出を控えましょう。外出する際には不織布製マスクを着用するなど、防御策をとってくださいね。

by koizumi